

三和分校

PTAだより

福知山高校
三和分校PTA
令和6年
7月19日

「たんぼぼ」のよびこ

PTA会長 上田 明美



令和6年度PTA会長を務めさせていただくことになりました上田と申します。昨年度多くの実績を重ねて来られました片岡さんの後任という事で正直荷が重いと感じております。會員の皆様方におかれましては、日頃よりPTA活動に多大な御理解と御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

上の子からの年間(今年で7年目)三和分校を見てきました。月日が経つのは早いもので、新型コロナウイルスの影響で制限されていた活動が戻ってきました。農業科、家政科とともにいろいろな事に挑戦し発表して入賞できたことは大変嬉しく思っています。

つも学校に足を運ぶたびに思うことがあります。それは子ども達の笑顔です。一年生の時は恥ずかしくていた子ども達も学年が上がるにつれ廊下を歩く足取りも軽く挨拶してくれる子どもも増えました。この笑顔に癒されながら保護者としてこうした時間や空間を守っていかねばならないです。また、PTA活動を通じて子どもたちが安心、安全に過ごせる環境づくりをしていきたいと思っています。

今回、副校長先生から原稿依頼の話をいただいたとき、何を書こうか悩みました。過去の会報を読み返しても私にはなかなか言葉が思い浮かびませんでした。そこで、私の好きな花「たんぼぼ」をイメージしながら保護者の皆様、子ども達に応援メッセージを送りたいと思います。

「たんぼぼ」ってかわいらしく強さがあり暖かい感じがします。花言葉はいろいろあると思いますが、一つは「真実の愛」太陽に向かって真っすぐ花味く姿。いつまでも素直な心を持ち続けたいです。そして、もう一つは「別れ」。お別れになってしまっけれど、現

在の場所から巣立っていく人に贈る言葉。タンポポの綿毛が、いろいろなところに広がるように、三和分校を卒業した子ども達はそれぞれ自立していくことでしょう。三和分校で学んだことを忘れず、温かい子どもたちのつながりが広がってほしいなと思います。悩んだり壁にぶつかったり体調を崩すこともあるかと思っています。そんな時は、いつも家族が見守っているように、「おかえりなさい」と子どもたちが帰って来られる家がある幸せ。」というので帰っておいで」と安心できる場所を作っておいてほしいです。

いぬさく

校長 藤田 浩



PTA會員の皆様には、日頃より本校の教育活動に御理解・御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。本年度も、上田会長をはじめ多くの役員並びに會員の皆様方の御協力により、PTA活動を円滑に進めることができている

ますこと、重ねてお礼申し上げます。さて、令和6年度入学式を4月9日に行い、本校全日制及び附属中学校とともに、三和分校定時制課程農業科12名、家政科4名の新入生を迎えました。三和分校全体としては、4学級48名でスタートしました。一方、今春の卒業生の進路状況については、就職3名、専門学校2名、その他1名となっています。

生徒たちは落ち着いた学校生活を送っており、学習や実習、学校行事、部活動に一生懸命取り組んでいます。農業科、家政科の学習においては、農業科の花苗の販売実習や家政科の食品加工室を使った加工販売実習など地域と連携した実習等を意欲的に行っています。生徒の生き生きとした姿に成長を感じられ、地域並びに関係の皆様からも褒めの声をいただいています。また、コンテスト等へも意欲的に参加しています。昨年度に引き続き「タルメインワールドマーマレードアワード&フェスティバル in Japan」に家政科が応募した作品3点が、銀賞、銅賞2とすべて入賞するという素晴らしい結果を残しました。生徒には今後も、様々なことにチャレンジしてほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症だけでなく、令和6年能登半島地震などの災害や国際情勢の変化など、次々と想定外

の出来事が起こる今の時代、将来を見通すことが困難で、“正解のない”時代を力強く生き抜くためには、「主体性を持って多様な人々と協働する力」で、課題を解決していくことが必要となります。生徒には、5K力（「感じる力」「考える力」「行動する力」「向上する力」「関わる力」）を伸ばし、「汎用的能力」（人間関係形成・社会形成能力、自己理解・自己管理能力、課題対応能力、キャリアプランニング能力等）を身に付け、自らの強み（個性）を活かし、人のため、社会のため（公）に生きる人となってほしいと思います。

そこで、三和分校では、
・自分の良さを見いだし、自信をもって主体的に行動できる生徒
・地道な努力を継続し、諦めずに目標を叶えようとする生徒
・他者を思いやり、互いに認め合い、支え合える生徒
・人との関わりを大切に、他者と協働して取り組める生徒
・自分の行動に責任を持ち、自立して社会で生き抜いていける生徒
を目標とする生徒像として、卒業がゴールではなく、社会で活躍できる人材として、卒業後を見据えた指導を行ってまいります。

明日から夏季休業に入ります。4年生は進路実現に向けて勝負の夏、1、

2、3年生にとっては、自分自身の器を大きくするための挑戦の夏にしてほしいと思います。

今後、会員の皆様には、PTA活動をはじめ、本校教育活動に御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

教務部長の

「今年度のトライ学習」

教務部長 早川 諭子

日頃から三和分校の教育活動に温かい御理解と御支援をいただき、誠にありがとうございます。教務部長の早川諭子と申します。

この場をお借りして、新しい形となつて3年目を迎える三和分校の探究活動「トライ」についてお話しさせていただきます。

今年度のトライは、「リーダーの育成」と「話し合う力の育成」の二つを主なねらいとしています。各ゼミのリーダーを選び、リーダーが中心となつてそれぞれのゼミ活動を行ってまいります。リーダーとしてゼミのメンバーをまとめあげるのには大変なことです。定期的に設けているリーダー会では、リーダー同士でゼミの進捗状況を共有するとともに、活動の悩みを打ち明ける場面もめります。同じ立場の者同士で

悩みに共感し、アドバイスをしあつた中で、互いに刺激を受け、少しずつリーダーらしくなっていく様子が見られます。

次に「話し合いの力」ですが、スムーズな話し合いのためには様々な力が必要です。相手の考えを理解し受け止める力、誤解なく相手に伝える力など、多くの力を総合的に使う必要があります。三和分校では、自分の意見を伝えることが苦手な生徒が多いようです。

しかし、学校は練習の場です。信頼できるゼミの仲間を相手に、「伝えること」に積極的に挑戦してほしいと思っています。そして、互いに理解し合えたときの快感や安心感を味わい、苦手意識を少しずつ克服してくれることを願っています。

このように今年度のトライでは、「リーダーの育成」、「話し合う力の育成」をねらいとし、生徒の成長の機会となるよう取組を進めています。御家庭でもぜひトライを話題にしてください。励ましていただけると嬉しく思います。

生徒指導部長の

生徒指導部長 福重 恵

PTA会員の皆様には、日頃より三和分校の教育活動に御理解と御協力

をいただきありがとうございます。本年度、綾部高校から赴任して参りました。保健体育科、福重恵と申します。本年度、生徒指導部長として皆様とかわつていくこととなります。

三和分校の生徒は皆、人懐っこい印象でもとても明るく元気に挨拶や会話をしてくれます。また、部活動にも積極的に取り組んでおり、園芸部、調理部、バドミントン部、卓球部が非常に活発に活動しております。また、学校生活では楽しそつこのびのびと過している印象です。1学期はじめは緊張していた1年生も少しずつ学校生活に慣れ、楽しそつこの活動している姿も多く見られます。

また、球技大会では生徒会が中心となつて非常に盛り上がり全校生徒で楽しく活動ができたことがとても良かったです。私自身、生徒指導部長として生徒一人一人が安心して安全に学校生活を送ることができていることを重視しております。

小さな困りごとから大きな困りごとなど、どんな些細なことも相談できる関係性の構築と何かあった際には、早く問題解決に向けて動き出せるようアンテナを張っておきたいと思っております。御家庭でもお気づきの点がありましたらどんな些細なことでも構いませんので拍任を通じて御相談ください。

皆さんが充実した学校生活を送れる

よう全力でサポートして参りますので、今後いよいよよろしくお願い申し上げます。

保健部より

「定期健康診断を終えて」

養護教諭 西山 あかね

口頭より、お子さまの心身の健康に御協力いただきまして、心より感謝申し上げます。三和分校の養護教諭を務めさせていただいております西山あかねと申します。今年度も1年間どうぞよろしくお願いたします。

4月より毎年実施しております定期健康診断ですが、皆様の御協力のもと、今年度も無事に終えることができました。三和分校は、生徒数が少ないという点もあり、学校医の先生方には、一人一人丁寧に時間をかけていただきながら診ていただいております。

学校の健康診断は、生徒達にとって「やらされるもの」になりがちな部分があります。しかし、生徒たち自身がその目的や役割を知ることで、健康診断への向き合い方や健康への意識が変わるのではないかと考えています。保健部では、それぞれの検診の前に、検診の目的や方法等「ほげんだよ」の「三」を通じて発信しています。今後、三和分校の生徒たちの健康診断結果を掲

載し、紹介していけたらと思っておりますので、ぜひ保護者の皆様も目を通じていただけたら幸いです。

また、御家庭でも健康について話し合う機会を設けていただきたいと思います。例えば、視力が低下している場合は、スマートフォンやゲーム機を使用している時間が長く増えているのか、姿勢が悪くなっているのかなど、生活を見直すきっかけにしてくださいませ。健康診断の結果、受診が必要な場合は、御家庭などの事情があまりのことと存じますが、ぜひ医療機関への受診をすすめていただきますよう、御理解と御協力をよろしくお願いたします。

新転任の先生より

農業科 白波瀬 裕介

今年度、農業高校から赴任して参りました、白波瀬裕介と申します。第3学年の担任で、担当科目は農業。部活動では園芸部と卓球部の顧問となりました。

時に引く張りの、見守りの、叱りの、一緒に笑いながら生徒たちを成長させるとともに、私自身も一緒に成長していきたいと考えております。じいちゃん、よういっお願いたします。

私も府内の農業高校を卒業しまし

た。高校生の時には、「自分は今何がしたいのか。」「自分には今、何ができるのか。」「自分は将来、何をしたいのか。」「などを考えながら、日々の授業を受ける生活を過ごしていました。最終的に、教師という仕事をしたという思いに至ったのは、社会人になってからです。

大学生の時には自分の高校生活を悔やんでばかりでした。周りには、部活動やバイトに明け暮れた友人や、難関大学を目指して勉強してきた人が多かったため、何もしてこなかった高校生活を悔やむと同時に、自分のできることの少なさから、劣等感を抱いていました。今でもこの劣等感を拭き切れたわけではありません。しかし、自分のこの後悔を生徒たちには経験させないために、私は教師という職業を選びました。

高校生のみなさんには、「やらずに後悔より、やって後悔。」の考え方を持ち、自分で自分に限界を作らず、勉強・部活動・アルバイトなど何事にも全力で取り組み、多くの力や考え方を身につけて欲しいです。

保護者の皆さまにも、お子様が少しでも大きく成長できるように、お子様の挑戦を様々な形で応援をしていただければと思います。

PTA会員のついで

「三和分校」入学について

一年保護者

中学三年の時、地元の高校と三和分校のどちらを受検するか迷っていました。両校の体験セミナーに参加することを決め、三和分校の体験セミナーにも参加させてもらいました。ゆったり学べる学校の雰囲気や、一人一人にしっかりと向き合っておられる先生方の様子を見学させていただき、本人も私たち親もとても良い印象を受けました。

最終的には、本人が少数人数でゆつくり確実に学べる三和分校を受検することを決め、入学させていただきました。親は、中学校の友達と別れて一人家から遠い高校に通うことになり「新しい友達かできたかな、学校には慣れたかな、勉強はごうかな」と不安や心配ばかりしていました。子どもは入学式の翌日には、もう「同級生と話して、ライン交換したよー」と楽しそうに帰ってきてました。私たちが思っている以上に早く学校生活にも慣れてホッとしています。

学習面も少数人数での実習など、わかりやすくゆつくり教えてもらえるので、これからの四年間を充実したものと

「こころ、ゆづり」でいいのでいろいろ
なことにチャレンジして自分の力をつ
けていって欲しいです。

この先、三和分校での学びが子ども
の力になるので、充実した四年間を過
してほしいと願っています。

先生方にも四年間お世話になります
がよろしくお願致します。中学三
年の進路を決めなくてはならない時
期、将来何がしたいかと聞くと「料理
やお菓子を作れるようになりたい」と
話しました。食べるのが大好きで、
食に興味があるようでした。そこから、
食に関する学科がある学校で学びたい
と見学をさせていただきました。

三和分校は自然に囲まれ、ゆづりの
と落ち着いた雰囲気、勉強しやすい
環境だと好印象でした。少人数でゆづ
りの確実に学べるこの魅力を感じ
、三和分校に決め、入学することに
なりました。

入学して、初めての登校に、緊張気
味の表情で家を出る子どもの姿に、私
まで緊張していたことを思い出しま
す。

今は、学校生活に慣れて、「楽しか
った」と学校での出来事を話してくれ
嬉しいと思います。学習面で授業につ
いていけるかなと心配することもありま
したが、子どもから「先生が優しく」
丁寧に教えてくれるからわかりやすい
よ。「のびのび」な学習環境の中で

集中して勉強に取り組んでいることに
安心しました。先輩や先生方に教えて
もらいながら、いろいろなことを吸収
して学んで成長してほしいです。高校
生活で出会った友達、先輩、先生方の
縁を大切に、充実した四年間が過らせ
ますよう、願っています。

これから四年間、よろしくお願致
します。

「三和分校に入学して」

一年保護者

祖父母が農業をしていることもあ
り、小さい頃から畑で遊ぶことが多く、
身近に農業がある環境でした。小学校
の時もクラスで野菜を育てたり、土を
触ることが好きでした。中学校で進路
を考えた時に、自分で作った野菜で料
理をして食べてもらうお店がしたいと
夢を持つことができました。夢をかな
えるために自分がどの学校で農業を勉
強するのがいいのか考え、自分で少人
数で勉強できる三和分校を選び入学す
ることができました。

入学後は、学校生活に馴染めるのか
心配でしたが、すぐに友達もできて楽
しく過ごせている様子です。高校と中
学校では、授業の雰囲気や先生の
話し方が違い、戸惑っている事もあ
つたみたいですが、先生たちに繰り返し

話してもらい、「丁寧にかかわってもら
っており、少しずつ成長していいとい
えるな」と感じています。
学校での行事も楽しみみに行っていて球技
大会や部活動の話を家でも楽しそうに
話してくれています。三和分校での四
年間で、農業だけではなく、社会に出
た時に必要となってくる方も身につけ
ていってほしいと思っています。その
為には、いろいろなことに挑戦し、体
験してほしいと思っています。

先生方には、いろいろなご迷惑をお
かけすると思いますが、御指導のほど
よろしくお願致します。



家政科 石原	保健部長 宇野	実習助手 石田	教務部長 早川	事務職員 浪江	技術職員 澤田
人権教育部長 小野	養護教諭 荻野	生徒指導部長 西山	農場部長 藤澤		
一年担任 池田	副校長 米津	校長 藤田	事務長 諏訪	三年担任 白波瀬	四年担任 高橋

三和分校
HP

・PTAたより、
みわ分校たよりの（カラー版）
随時掲載していきます。



令和6年度 三和分校教職員